

2025-2026年度国際ロータリーのテーマ



2025-2026年度国際ロータリー第2690地区メッセージ

「UNITE FOR GOOD」
よいことのために手を取りあおう

2025-2026年度岡山北ロータリークラブのスローガン
元気になることをしよう

2025～2026年度 *Rotary Club of Okayama North*

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所／〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会場／岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日／毎火曜日 12:30～13:30

理 事 ・ 役 員
2025.7～2026.6

会 長	高 畠	浩 剛
副会長	上野 山	信 達
幹 事	砂 田	義 宏
副幹事	宮 井	也 司
会 計	岸 本	海
S.A.A.	磯 宅	
副S.A.A.	三 島	

会員増強・退会防止(理事)
広報(理事)
奉仕プロジェクト(理事)
ロータリー財団(理事)
クラブ3年計画
親睦活動
プログラム
直前会長(理事)
次期会長

馬 永
場 山
幸 雅
三 己
治 樹
郎 洋
真 樹
剛

モバイルサイトへのアクセスは
QRコードをご利用ください。
(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「力を伸ばす」と「無敵になる」
陸上競技プロコーチ 長谷川 昌 弘 様

次回8月19日のプログラム

「内部卓話」
福 嶋 紘 会員

8月のお祝い行事

会員誕生日：正保、山本(和)君
結婚記念日：橋田、平野、高畠君

前回7月29日の例会記録

出席の状況

会 員 数 51名(出席免除者0名)
出席者数 31名
欠席者数 20名
出席率 60.78%
7月ホームクラブ平均出席率 66.18%

ビジター

岡山西南RC 1名
岡山岡南RC 1名



岡山西南RC 内山一三様



岡山岡南RC 磯邊崇様

スケジュール

8月 会員増強・新クラブ結成推進月間

12日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
19日(火) 12:30～例会・ガバナー補佐公式訪問クラブ協議会
26日(火) 12:30～例会

9月 基本的教育と識学率向上月間・ロータリーの友月間

2日(火) 12:30～例会・地区ガバナー公式訪問例会
第3回理事役員会
9日(火) 観月夜間例会
14日(日)・15日(月) 第2690地区ロータリークラブ
杯ミニバスケットボール大会(第20回岡
山北RC旗杯ミニバスケットボール大会)
16日(火) 12:30～例会
23日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
28日(日) 地区大会記念テニス大会
30日(火) 12:30～例会

本日のメニュー：和食
次回のメニュー：洋食

会長挨拶



2017年-2018年度の同期幹事の岡山西南ロータリークラブ 内山一三さま、岡山岡南ロータリークラブ 磯邊崇さま、お越しいただき有り難うございます。

両名とも、すでに会長を経験されていますので先日開催された県南16ロータリークラブ幹事同期会のなかでも様々なアドバイスを頂いた所でした。

どちらのクラブとも日頃あまり交流がありませんので、両名には少しお話を頂きたいと思います。

あと、7/23水曜日、当クラブの親クラブである岡山ロータリークラブへの表敬訪問へ砂田幹事と米林プログラム委員長とともに行って参りました。同じく親クラブの西ロータリークラブの岩居会長と幹事、西南ロータリークラブの田中会長と幹事も表敬訪問されていたので良い情報交換の場面となりました。

岡山ロータリークラブは111名の会員数で出席率はこの日80%。ビジターゲストを入れると約100名の参加者で、とても壮観な眺めの中、2分の時間を頂きクラブの紹介をさせていただきました。

この日、1名の会員が入会され、7月中にあと4人の会員が入会予定であるとのことでした。

今年度120名を目指すとのことでした。

先週末、宮武会員が、昨年に引き続きハムの差し入れをして下さったので新天地育児院へ岡山北ロータリークラブからとして寄贈致しました。

中山賢太郎さん、段取りいただき有り難うございました。

本日は、山本武彦先生の有り難いスピーチを頂く予定となっておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

幹事報告

1. 地区大会のチラシを配付しております。ご登録、ご参加よろしくお願いいたします。
2. 本日例会終了後、ガバナー補佐公式訪問クラブ協議会リハーサルがございますので、ご参加よろしくお願いいたします。
3. 8月の出席確認表を回覧いたしますので、よろしくお願いいたします。
4. ハイライトよねやま Vol.304、他クラブ週報・月報を回覧いたします。



幹事報告

S. A. A.

岡山西南RC内山様、岡山岡南RC磯邊様：今日は高畠会長の応援で表敬訪問にうかがいました。7月中に訪問できて良かったです。高畠会長1年間頑張ってください！

高畠君：岡山西南RC内山様、岡山岡南RC磯邊様、本日は来訪いただき有難うございます。

山本武彦先生、本日のスピーチよろしくお願い致します。

上野山君：山本武彦先生、本日のスピーチよろしくお願い致します。

先日のゴルフ同好会で優勝させていただきました。同伴者の皆様、ありがとうございました。

砂田君：岡山西南RC内山様、岡山岡南RC磯邊様、本日はご来訪いただきありがとうございます。

宮井君：内山様、磯邊様のご来訪、歓迎いたします。

山本武彦先生のスピーチを楽しみにしています。

伊藤君：山本武彦会員のスピーチ楽しみです。

磯島(芳)君：はずかしながら家内のコラムが山陽新聞に掲載されました。磯島副S.A.A.、鴻上さんに見つかったのでスマイルさせていただきます。

渡辺君：山本武彦先生のスピーチを楽しみにしております。丸の内RCにいた私の父と同期幹事ということで親しくさせてくださり、感謝しております。

お誕生日のお花が昨日届きました。お祝いいただき、ありがとうございます。

磯島(慈)君：山本武彦先生のスピーチを楽しみにしています。勉強させていただきます。

磯島芳樹会員の奥様のコラムも楽しみにしています。

三宅君：山本武彦先生のスピーチを楽しみにしております。



出席報告



スマイル報告



会員の皆様から募った済生丸への募金を山本和秀会員へ

臨時総会を開催

令和7年4月8日に行われました臨時総会において、クラブ活性化推進計画委員会の設置と常任委員長を選任が行われましたので、理事及び理事会の構成人員の改正の必要がある為、岡山北ロータリークラブ細則第15条に基づき、クラブ細則を変更するための臨時総会が開催されました。



臨時総会進行の砂田幹事

【改正後】

(傍線の部分は改正部分)

第2条 理事会

本クラブの管理主体は、理事会とする。理事会の構成は、本細則第3条第1節に基づいて選挙された5名以上の理事に加え会長、副会長、幹事の3名の理事ならびに会計、副幹事、副会場監督、プログラム委員長、親睦活動委員長、直前会長、次期会長および理事会の求めによって招集された役員とする。

第3条 選挙と任期

第1節 役員を選挙すべき会合の1カ月前の例会において、その議長たる会長は指名委員会に対して、次々期の会長、次期の副会長、幹事、副幹事、会計、副会場監督および5名以上の理事を指名することを求めなければならない。指名委員会は、会長、幹事、次期会長、直前会長およびこれをさかのぼる4代の元会長によって構成されるものとし、就任時期が最も早い元会長が委員長となって委員会の議長をつとめ、委員総数の過半数をもって委員会の定足数とする。適法に行われた指名は各役職、理事ごとに年次総会において発表し、会員の賛否を問うものとする。過半数の賛成を得た被指名者がそれぞれ該当する役職、理事に当選したものと宣言されるものとする。前記の方法によって選挙された次々期会長は、その選挙のあと、7月1日に始まる年度に、会長エレクトとして理事会のメンバーを務め、会長エレクトとして理事会のメンバーを務めた年度直後の7月1日に会長に就任するものとする。

同好会報告 〈ゴルフ同好会〉



開催日：2025年7月26日（土）

コース：後楽ゴルフ倶楽部

競技方法：持ハンディ

順位	氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	上野山 剛	49	46	95	30	65
2位	大塚 雅司	37	40	77	10	67
3位	山本 和秀	43	45	88	20	68

2024-2025 取切り戦結果

優勝：大塚会員 得点王：内座会員

(同好会幹事 坪井 翔)

スピーチ：「私とロータリー」

山本 武彦 会員



ロータリーの真髄は「斜めの関係」にあり ～山本武彦大先輩のご講演に寄せて～
今日は山本武彦先輩に「私とロータリー」という題目にてご講演いただきましたので、その内容と私が感じたことを山本先輩と相談の上、書かせていただきました。

先日の例会では、我々が先輩、山本武彦会員（昭和12年生・88歳）に、大変貴重なスピーチの時間を頂戴いたしました。

88歳とは思えぬ矍鑠（かくしゃく）としたお姿と、張りのあるお声で語られるお話に、会員一同、時間を忘れて聞き入りました。

その穏やかな語り口の中には、激動の昭和史を生き抜いてこられた壮絶なご経験と、ロータリークラブへの深い愛情が込められていました。

【岡山大空襲の記憶から、柔道に捧げた青春】

お話は、神戸に生まれ、疎開のため岡山へやって来られた矢先の、岡山大空襲の鮮烈な記憶から始まりました。現在の全日空ホテル付近にあったご自宅から京山方面へ避難する道中、焼夷弾の直撃を受け亡くなられた方々を目の当たりにしたという壮絶な原体験。そのお言葉の重みに、会場は静まり返りました。

その後、岡山朝日高校へ進学されると、勉強そっちのけで柔道に明け暮れる日々。当時65kgほどのきゃしゃな体格ながら、血の滲むような努力でレギュラーの座を掴み、高校3年時には岡山県大会で準優勝。見事、インターハイ（中国大会）出場の栄誉を手にしたそうです。柔道に熱中するあまり、お母様が学校に呼び出され、「息子さんは大学へ行く気があるのでしょうか」と担任の先生に問われたというエピソードには、山本先輩のやんちゃな青春時代が垣間見え、会場から笑いがこぼれました。

【医師として、ロータリーとの出会い】

岡山大学医学部へ入学～ご卒業後は、医師として多忙な日々を送られます。特に、岡山県東部の医療体制の脆弱さに心を痛め、赤磐医師会病院の設立に奔走。昭和54年の開院時には、初代院長という重責を担われました。

その院長時代、医師の確保に苦心していたところ、大学の先輩から「ロータリークラブに入ったら、医者への派遣を考えてやる」と言われたのが、昭和61年のご入会のきっかけだったとか。山本先輩が「よこしまな考えで入ったんです」と笑いを取られたこのくだりには、会場も大いに沸きました。結局、そのお話は叶わなかったそうですが、この偶然がなければ、今日の私たちと山本先輩とのご縁はなかったかもしれません。

【ロータリーの真髄「斜めの関係」と、クラブへの大いなる貢献】

「ロータリーに入って本当に良かったのは、普段の生活では決して出会うことのない、全く違う職業の人たちと出会えたこと。縦（先輩・後輩）でも横（同僚）でもない、『斜めの関係』ができたことが、私の人生の財産です」。このお言葉は、会場の会員の皆様の胸に深く響いたのではないのでしょうか。

山本先輩は、平成5年には幹事として鴻上会長を支え、例会場を現在のホテルグランヴィア岡山へ移転するという大きな変革を支えられました。

さらに平成12年には会長に就任。当時、会員数が減少する厳しい状況の中、「世界社会奉仕委員会」を立ち上げ、タイの裸足の子どもたちへ靴を贈るという、今に続く国際奉仕活動の礎を築かれました。その一方で、活動が停滞していたローターアクトクラブを解散するという苦渋の決断も下されました。クラブの歴史の重要な局面には、山本先輩の姿があったことを、知ることとなりました。

【我々が受け継ぐべき、未来へのメッセージ】

スピーチの最後に、山本先輩は私たちに静かに、しかし力強く問いかけられました。ご自身の会員名簿の職業欄が「白紙」であることに触れ、「定年と共にロータリーを去る会員が多い現状は寂しい。ロータリーの基本は、ポール・ハリスの理念や国際的な活動もさることながら、まずは会員同士が顔と名前を知り、互いを深く理解し合う『緻密な関係』にあるのではないか」と。

そして、「外向きの活動も良いが、今こそもう一度『内向きの充実』を図り、会員みんなでこのクラブを楽しく、立派にしていくべきだ」というメッセージを下さいました。このお言葉は、私たち現役会員への温かくも厳しいエールとして、深く心に刻まれました。

山本先輩、この度は準備期間も少ない中スピーチを引き受けてくださり、ありがとうございます。大先輩が築き、守ってこられたこの岡山北ロータリークラブを、私たち後輩がしっかりと受け継いでいかなければならないと思いました。

そして、これからも末永く、ご指導いただけますよう、心よりお願い申し上げます。

（高 浩）